

<施工工数・コスト比較>

工数

在来工法	吊ボルト4本に金具取付	斜材間を採寸	振れ止めボルトを切断 固定金具にボルトナットで固定	ボルトナット固定
柔ワイヤ工法	吊ボルト4本に金具取付	固定金具にワイヤを通す 引留め金具でワイヤを締結	交差金具取付	

施工工数 **4割** カット

コスト

在来工法	110	30
柔ワイヤ工法	100	

1台分の価格比率

斜材費

製品コスト **3割** カット

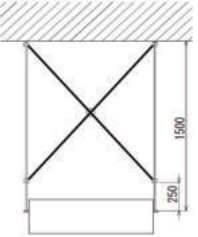
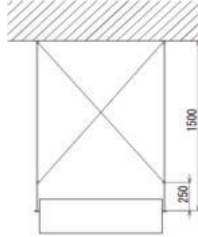
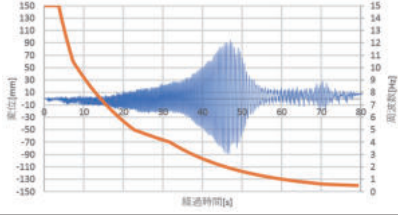
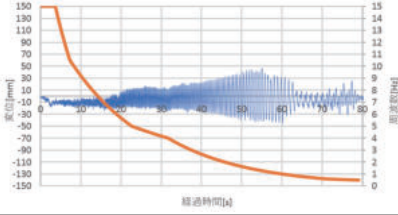
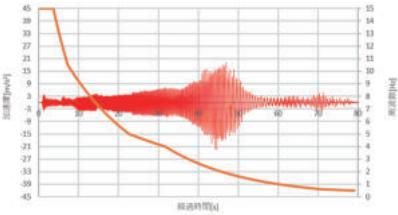
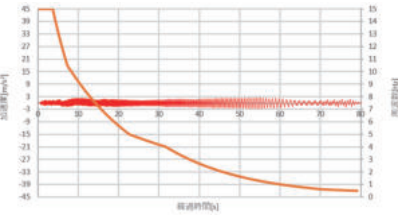
時間

在来工法	17分以上
柔ワイヤ工法	5分25秒

1台分の平均施工時間

施工時間 **7割** カット

<工法別 振れ止め比較試験 ※例>

工法	全ねじブレース工法	柔ワイヤ工法
取付状況 (機器重量： 50kg 吊り長さ： 1500mm)		
変位 mm	 94.4mm	 46.5mm
機器加速度 m/s ²	 22.50m/s ²	 2.87m/s ²

<試験条件>
試験機材：
アクチュエーター
吊元加速度計
機器加速度計
吊元レーザー変位計
機器レーザー変位計
加震波：15Hz～0.5Hz
(震度6強相当)

<試験結果考察>
・全ねじブレース工法に比べ、柔ワイヤ工法は変位・機器加速度共に低く、吊り機器へのダメージが少ない結果となりました。
詳しい試験結果をご希望の場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。

管材事業部

<https://www.nichieiintec.jp>

日栄インテック

検索

振れ止め比較
動画



施工手順
動画



日栄インテック株式会社

日栄インテック株式会社

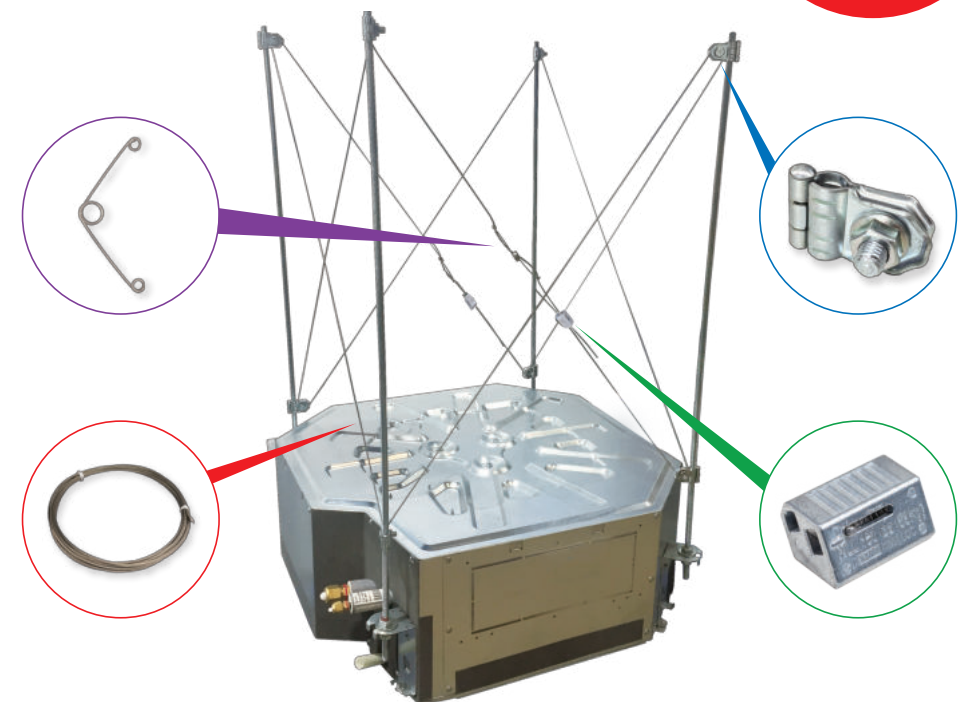
<https://www.nichieiintec.jp>

[地震対策（吊り機器の制震・制振補強）の新工法]

にゅー 柔ワイヤ工法[®]

剛から柔への発想の転換

好評
発売中
特許取得済



安全性 制震・制振効果

・吊り機器の揺れや共振を、ワイヤの可動機能によって制震・制振効果が得られます

施工性 施工時間 約**70%**削減

・斜材の採寸と切断時間を不要とし、ワイヤを金具に通していくだけの簡単作業で大幅な施工時間の短縮

ECO 省スペース化

・部材残が少ない
・材料置き場の省スペース化実現

3つのポイント

柔ワイヤセット (バネ付)

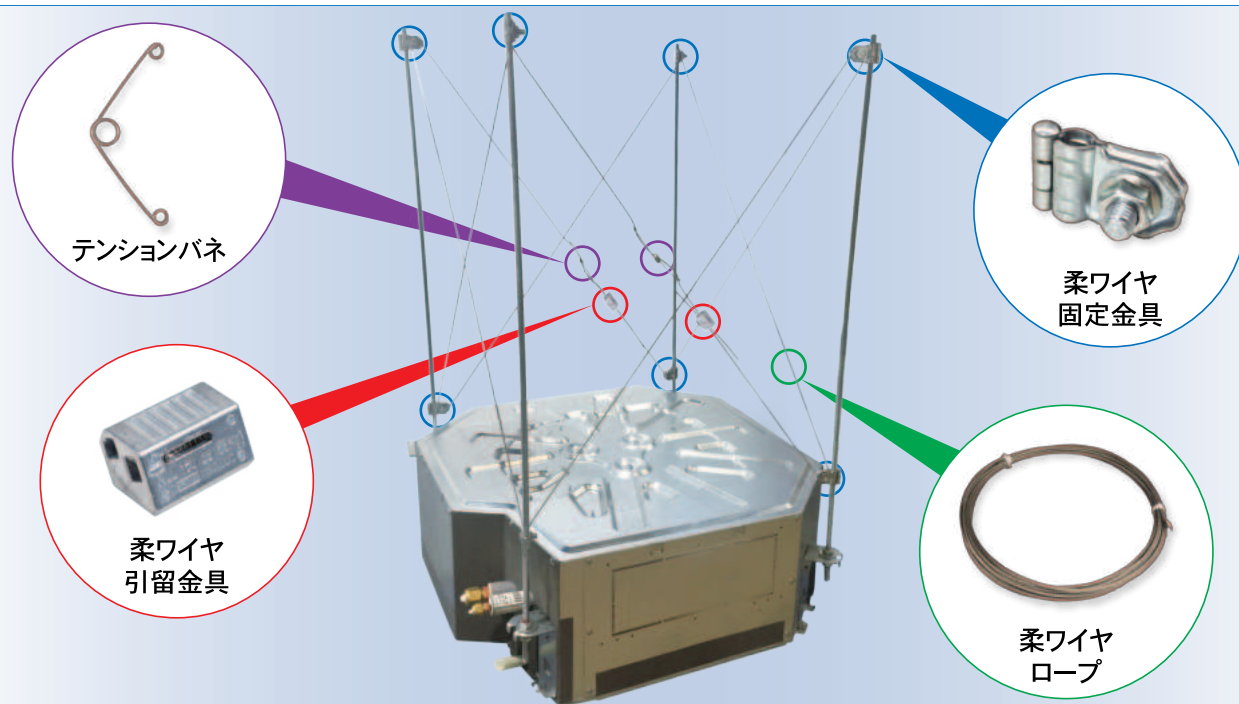
セット内容	
柔ワイヤ固定金具 / 8 個	柔ワイヤ引留金具 / 2 個
柔ワイヤロープ / 2 巻	テンションバネ / 2 個

》》 特長・用途

- 吊り機器の吊りボルト振れ止めに最適なシステム金具
- 適用吊りボルト: W3/8
- 金具類: 鉄製 (電気亜鉛めっき)、亜鉛合金製
- ワイヤ: ステンレス製 (SUS304)
- テンションバネ: ステンレス製 (SUS304)

コード	商品名	販売単位
102702901011010	柔ワイヤセット (バネ付)	1 セット

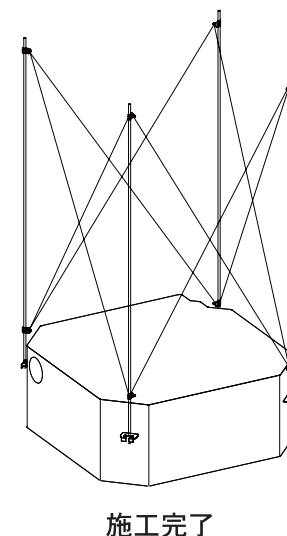
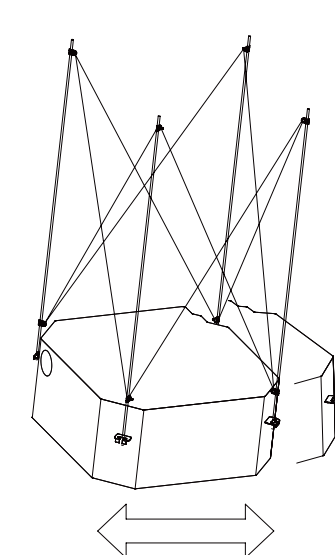
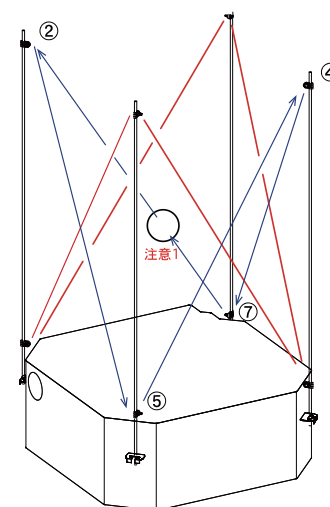
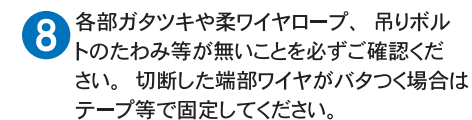
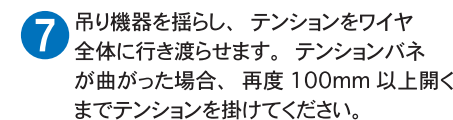
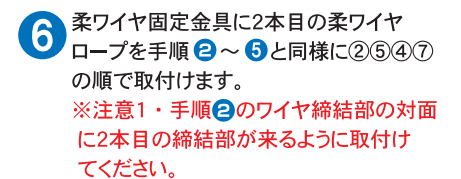
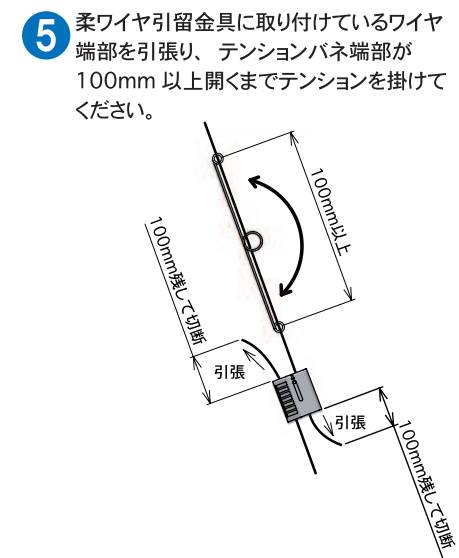
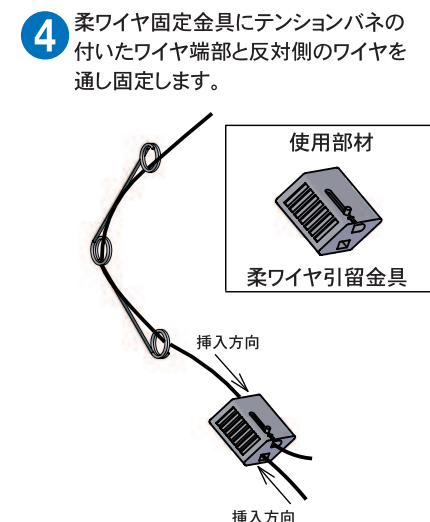
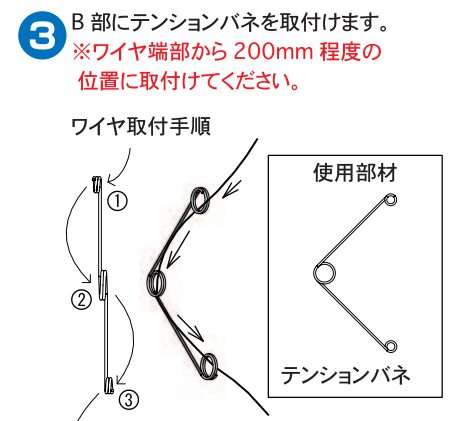
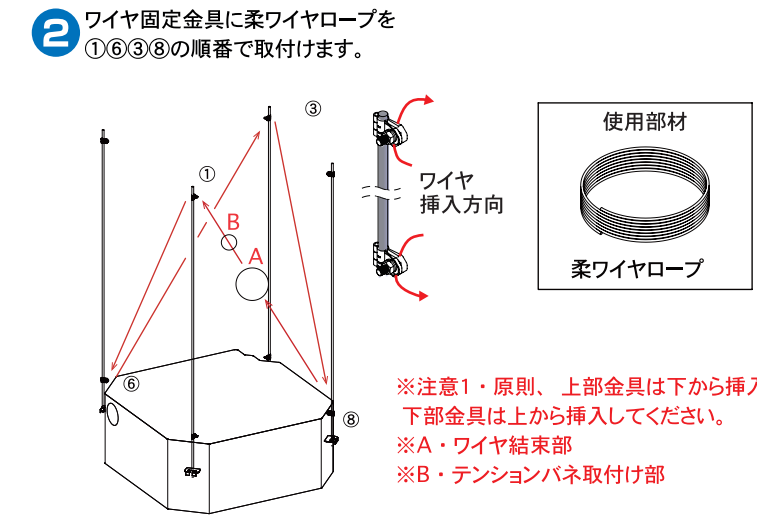
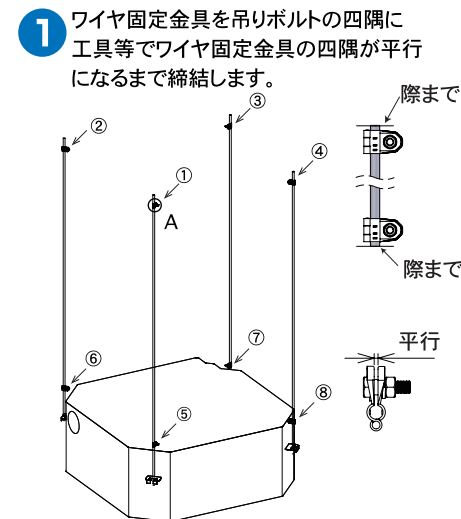
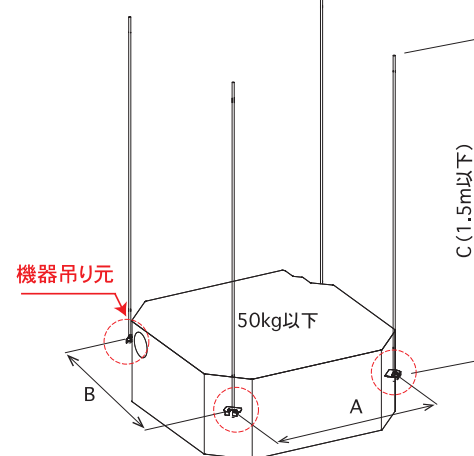
取付けイメージ



施工時、ご使用上の注意

- 本来の使用目的以外での使用はご遠慮ください。
- 同梱されている商品以外は使用しないでください。性能が十分に発揮されない場合があります。
- 使用される機器サイズと重量を必ずご確認ください。図1参照 (A辺B辺C辺合計3.5m以下 重量50kg以下の機器にご使用ください。)
- 吊り高さ1.5m以下でご使用ください。図1参照
- ワイヤに鋭利な角を当てないでください。
- 柔ワイヤ引留金具に強いテンションがかかるとロック解除できません。
- ワイヤには、油やペイント等つけないでください。(摩擦力等、十分な効果を発揮できません。)
- ワイヤの切断は、ワイヤカッターを使用してください。
- 防振ハンガーを使用する場合、防振ハンガーを機器吊り元側に取付けてください。図1参照
- 上下2連以上の工法の使用はご遠慮ください。
- 商品の再利用はできません。
- 機器の交換時には、柔ワイヤセットも交換してください。

図 1



施工完了